

与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム

「北陸新幹線『敦賀・大阪間』整備検討委員会」西田昌司委員長 様

「京都府北部地域を経由する北陸新幹線のルート延伸
の速やかな具体化」及び「山陰新幹線等の早期実現」について

本会は、北陸から山陰道を経て下関に至る、いわば環日本海・本州西部地域が豊かな自然資源や健康環境、我が国歴史の源流文化などの魅力や資源に恵まれ、将来ともに我が国全体の経済・地域力の本格的な発展を支える中心的な国土軸の一つであることを踏まえ、早急に、山陰を縦貫し北陸に接続するとともに山陰から京都、大阪などの近畿を直接に結ぶ新幹線、リニア鉄道などの超高速鉄道（以下、「山陰新幹線等」という。）の建設に着手・推進されるよう、関係諸機関への要請、必要な調査等の諸活動を真剣に推進しています。

将来、山陰新幹線等を実現するに当たり京阪神圏域に接続するとともに、日本海側圏域でこれを北陸新幹線に接続することは、山陰地域と北陸地域をしっかりと連結させることとなり、これにより、両地域相互の発展に著大な効果をもたらすことが強く期待されるほか、本州の東西を貫く「環日本海国土軸」が形成され、国家的な防災・リダンダンシー確保の上でもその国益は極めて大きい。

その上で、北陸新幹線が京都府北部地域を経由して京都市、大阪市など京阪神圏域につながるルートとして実現されることは、将来、山陰新幹線等を京阪神圏域とともに北陸新幹線に接続していく上で、最も効率的で、円滑、合理的なルートとなるものであり、後世代へと続く総合的な国益確保の上で、このルートによる北陸新幹線の速やかな具体化、及びそれにより促進される山陰新幹線等の早期実現を強力に推進いただきますよう、ぜひともお願いをいたします。

平成28年 2月 9日

山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議

会 長 深 澤 義 彦（鳥取市長）

